

日程第4 一般質問

○議長（武石善治） 日程第4、一般質問を行います。

質問の通告がありますので、発言を許します。その前に、今回は一般質問者が5名と多いので、時間等に気をつかってもらいたいと思います。今日1日で本会議を終えたいと思いますので、そういう対応でお願いしたいと思います。

それでは一般質問を行います。6番、北林義高君。

（6番 北林義高議員 一般質問席登壇）

○6番（北林義高） それでは1つ目の質問をさせていただきます。

中田村政も2年が過ぎ3年目となりますが、今まで見ていますと中田カラーといえますか、どのような方向に進めていきたいのか、今ひとつ見えないように思います。今、村では少子高齢化による人口減少や事業所の閉鎖などによる職場の減少、山ふじ温泉や大地の芸術祭など、やらなければならないことが沢山あります。村民の皆さんも仕事があれば子どもや孫とともに一緒に暮らすことができると思っていることでしょうか。今まで何度か村に進出を希望する会社がありましたが立ち消えとなっております。

企業誘致も進まない今、やはり農業、林業の活性化が必要ではないでしょうか。村有林や民有林などの作業道整備を行い、間伐などによるオフセット・クレジット制度などを活用して山林の価値を高めるなど、これからの進む方向をはっきり示すことで、役場職員の皆さんもどう進めていくかわかると思います。村民、皆さんと共に住みよい村にできるのではないのでしょうか。

それでは、ご答弁をお願いします。

○議長（武石善治） はい、村長。

（中田吉穂村長 登壇）

○村長（中田吉穂） 北林議員のご質問に対し、ご答弁を申し上げたいと思います。

村長のカラーをもっと強く打ち出してと、激励の言葉を頂き、自分のおかれている立場と重さに改めて意を強くいたしております。また、一方では、村の現状を、スピード感をもって変化させていくことの難しさを改めて実感しているところでもあります。

政治に限らず、世の中は決して理想のとおりには動いていきませんが、明確な理念を堅持した上で、理想を求めいく姿勢が問われていると思われれます。日々努力しておりますが、「中田カラーは」と、あらためて問われれますと、なかなかこうですというふうなことを示すことが難しいのが現状でもあります。どの行政においても、その首長の考え方が浸透するまで時間を要するかと思われれますので、北林議員のおっしゃるように、昨年までを助走期間とするならば、平成25年度には任期も折り返しにはいってまいります。

公約を掲げ、村政を担っているからには、村民の期待と負託に応えていく努力を村民の目に見える形にしていかなければなりません。政治は政策であります。政策は予算を伴ってこそ実行されるものであります。しかし、我が村の現状や地理的な面、また、村財政は単独事業をどんどん仕掛けていくだけの余裕も、また職員数などの人員も、少なからず制約を受けていることはご認識をいただいていることと思います。

人によって持てる物差しにも違いがあるように、これまでの村政運営に関しましても千差万別ご理解とご批判があることと思われます。

さて、3年3カ月ぶりに政権が変わり、景気対策など大規模な補正予算がどのように地域に波及してくるのか、今のところ大きな変化を想定することはできませんが、我が国の財政状況を思えば、いずれ財政再建という厳しい対応も迫られることになってくると思われます。

2011年3月11日の東日本大震災から自然災害や防災に対する備え、高齢者の独居世帯の増加や行政の役割は拡大し、一方では限界集落や人口の自然減少など、この村に住んでいる人々の不安は、多方面に広がっており、そうした対応もしっかりと行っていく必要があります。また、村の基幹産業である農林業を軸にして、国、県の政策とリンクしていくことが、効果を上げる最も近道であると思っております。そうした情報をもとに林業では森林整備促進のための林道の整備や農業排水路等の長寿命化整備など、村の将来に向けた取り組みを選択して行っており、持続する村づくりにつながっていくのではないかと思っております。

行政は無駄を省き、効率化を進め、地域にあるものを生かし、この村のよさを最大限に生かした取り組みをしていかなければなりません。

村で生活する一人一人を大切に、ここに住み続けたい思いを抱かせるとともに、子ども達の将来に希望を与える政策を提案し、それを実行してこそ、我が村が持続する力になるのではないかと思っております。

少子高齢化は我が村の大きな課題であります。交流人口を増やし、賑わいを生む仕掛けは、村の活性化に不可欠であると思っております。昨年は大地の芸術祭の飛び地開催という今まで経験したことのない事業に、多くの村民の方々のお力をお借りして挑戦することができました。全てが手探りの中で、最終的に村を大きく発信できたことは、新しい上小阿仁村の魅力につながったと思っております。

地域に人の交流が生まれ、新しい視点から物事を見つめていくことは、人も地域も変る大きな要素ではないでしょうか。これまでの受動的な姿勢から、発展的な物の考え方や見方に変化していくことで、新たな村の再発見につながるのではないかと、私は思っております。

今年度も、カミコアニプロジェクト秋田第2弾として、旧沖田面小学校の廃校舎や八木沢の自然や耕作放棄地など、外からのさまざまな応援や視点を生かした取組みに挑戦し、地域の活性化が図られるよう計画をしていきたいと思っております。秋田公立美術大学との連携を基に、アートによる村の活性化事業は、国、県の支援を受け、若い学生達の感性をいただきながら地域づくりを進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いを申し上げます。

以上です。

○議長（武石善治） 6番、北林君。

○6番（北林義高） ご答弁ありがとうございます。それでは1つ目の質問を終わらせていただきます。

○議長（武石善治） 6番、北林君。

○6番（北林義高） 2つ目の質問に入らせていただきます。

村道、林道の管理状況を見ていますと、主要道の管理は良くやられておりますが、管理の不十分な所が多くみられ、道路があっても草や木が生い茂り、車や人も通れない状態です。村では、このような村道や林道があることを把握しているのでしょうか。大型の機械でできるところは、年に数回行っているようですが、なかなか手が回らないのか、このような場所が見受けられます。村では必要がないと見ても集落では必要と見る所もあります。各集落では対応できる集落とできない集落があると思いますが、集落に委託することで林道の利用も増え、山林の利活用もできると思われれます。村では定期的にパトロールを行っているとのことですが、このような所があることを把握しているのかお聞かせ願いたいと思います。

ご答弁、お願いします。

○議長（武石善治） はい、村長。

（中田吉穂村長 登壇）

○村長（中田吉穂） 林道の管理に対してのご質問でございます。

長信田林道は、長年にわたり、羽立、長信田・大阿瀬の方々が郷役によりボランティアで管理していただいております。改めて感謝申し上げます。しかしながら、高齢化等により重労働の作業が困難になってきているのも事実で、今までのように全ての維持管理を部落に委託することは、困難であると考えられます。

村道、林道の管理については、村で管理するのが当然のことではありますが、今後、草刈り等の部分的な委託が可能か、また、委託料の積算について検討をしてみたいと思っております。

村道、林道の管理については、村道は18路線を5月から10月まで月2回の

計 10 回、林道は 23 路線を同じく月 2 回の計 10 回パトロールを委託し、日報に写真を添付して報告をいただいております。それにより通行に支障のある箇所や危険箇所については、危険看板や路肩危険テープの設置、土砂撤去、草刈り等の措置を講じて安全の確保に努めています。

林道と接続している作業道については、集落で管理しているものと、村で管理しているものがありますが、林業作業が入らないと管理が行き届かない面がありますので、作業道については、パトロールを除外しておりますので、ご理解をお願いいたします。なお、林道については、地場産業の活性化のため、幅員の拡張や待避所、橋りょう改修等、有効な補助制度を活用し整備を進めたいと考えております。また、緊急雇用創出臨時対策基金事業で、22 年度、23 年度に村道の側溝浚渫作業を、24 年度では林道の側溝浚渫作業を実施しており、今後とも、このような財源が確保されれば、それを活用し、維持管理に充てたいと考えております。

今後とも、村道、林道につきましては、安全な通行と作業のため維持管理に努めてまいります。豪雨等により行き届かない点があればお知らせ願ければありがたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

○議長（武石善治） 6 番、北林君。

○6 番（北林義高） ご答弁ありがとうございます。それでは、2 つ目の質問を終わらせていただきます。

○議長（武石善治） 6 番、北林君。

○6 番（北林義高） それでは、3 つ目の質問に入らせていただきます。近年、暖冬と言われておりますが、最近の降雪量を見ますと、昨年も大雪と言われ、今年も昨年以上の大雪となっております。毎日、深夜からの除雪、ごくろうさまです。村道などの除雪は大変よく行われ近隣の市町村に比べきれいにできていると言われておりますが、歩道の除雪はどうでしょうか。車道は 10 センチぐらいの雪があっても車は大丈夫ですが、人はそうはいきません。

国道などは除雪車が戻る前に降雪になり、歩くのが大変です。少し時間や回る順番を変える必要があるのではないのでしょうか。

子ども達の歩く通学路もありますので、お願いいたします。また、歩道に設置されている街路灯ですが、歩いて見ますと灯りのついていない所が見られます。村では街路灯の点灯の点検を行っているのでしょうか。ぜひ点検をお願いいたします。

ご答弁をお願いいたします。

○議長（武石善治） 村長。

（中田吉穂村長 登壇）

○村長（中田吉穂） 昨年に引き続き今年も大雪になりまして、住民生活も大

変苦勞を強いられている中で、除雪に関してのご質問でございます。

歩道の除雪に関してのご質問でございますが、歩道の除雪は、県の委託路線を含めて11.6kmを実施しておりますが、小型ロータリー車1台での除雪であり、降雪状況により違いがありますが、移動を含めると37.7kmもあり、除雪時間は7時間を要しており、全ての地域の要望に応えるには難しいところがございます。

歩道の除雪につきましては、通学の時間帯に国道や県道及び村道の除雪作業が前後したり重なったり、早朝の出動のため、出動後に雪が積ったりということがあります。そういうことから、今年度途中からは、今まで小沢田から出発していたものを、大林から出発して、通学時間帯に重ならないよう試行もしております。また、一斉出動がない場合は、要望により出動したり、また、吹きだまりがないかなど、現場を確認して、必要に応じて日中の出動もしております。

今後も改善すべき点があれば改善し、住民生活の足の確保に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたしたいと思います。

また、街路灯につきまして、できるだけ職員にも指示はしておりますが、行き届かない点もあるかもしれません。そしてまた管理も、集落の管理と村の管理と、両方、境界といたしますか、そういった面もございます。どちらの管理なのかよく把握できませんので、これから、そういった場所等わかれば、お知らせ願えれば対応したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（武石善治） 6番、北林君。

○6番（北林義高） ご答弁ありがとうございます。

街路灯も、切れていますと、歩行者の皆さんが不自由しますので、よろしく願いします。

それでは、一般質問を終わらせていただきます。